

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新基準適合性
審査に関する事業者ヒアリング(92)、(125)」

2. 日時：令和2年7月15日（水）10時00分～11時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査
官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、南雲係員

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他9名（テレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 浜岡原子力発電所 地震動の顕著な増幅を考慮する地震動評価について
- ・ 浜岡原子力発電所 地震動の顕著な増幅を考慮する地震動評価について
（補足説明資料①）
- ・ 浜岡原子力発電所 地震動の顕著な増幅を考慮する地震動評価について
（補足説明資料②（地震動の顕著な増幅を考慮しない地震動評価
について（概要）））

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	しました。はい。
0:00:04	はい、規制庁のスガヤです。おはようございます。
0:00:07	これから
0:00:09	地震動の顕著な増幅を考慮する地震動の評価についてということであるヒアリングを始めさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。
0:00:21	中部電力アマンです。前回 6 月 24 日に実施させていただきました同区ありの地震のののヒアリング 4 回目をお願いいたします。説明については 15 分から 20 分程度になると思いますので、よろしくお願いいたします。
0:00:49	中部電力の石川です。よろしくお願いいたします。
0:00:54	そう資料のほうですけれども送付させていただきましたのが年間 624 日のヒアリングからの修正箇所一覧を 15 分と本資料 15 分。
0:01:05	あと補足説明資料①の差替資料差しかえ箇所のみを 14 分を、あと補足説明資料①②の官報版をそれぞれ一部送付させていただいております。
0:01:17	資料についてはこの資料で追加した箇所がありますのでそちらを説明していきます。また補足説明資料①②につきましては、弁閉ヒアリングでのコメント対応として確認いただく必要がある箇所のみ差し替え会長提出しておりますその部分を説明していきます。
0:01:35	風化のを参照のページであったりとか審査会合の回数でのズレなどの修正箇所については、修正箇所一覧を元本盤のほうを参照ください。
0:01:47	それではまず本資料の 9 ページお願いいたします。
0:01:57	こちらは観測記録に基づいて 5 号炉周辺観測点の特定の方向でのみ増幅が見られていることを示しているページですが、左下の説明二つ目のポチ飯豊基準としている No.7 観測点につきまして確認の方法がありましたので、
0:02:16	その位置付けについて下線を引いた箇所を敷地のほぼ中央に位置する No.7 と分けて説明を追記しております。
0:02:25	これについては過去の資料の説明と同じ記載をしております。
0:02:32	続いて、11 ページ、お願いいたします。
0:02:40	ここからは、敷地における地震動の増幅特性を踏まえた地震動の顕著な増幅反映方法を説明しているところです。
0:02:49	前回のヒアリングを踏まえてまず方針のページ、こちらを追加しました。
0:02:54	まず一番上の箱には敷地における地震動の増幅特性を洋服の影響を示しております。

0:03:03	地震動の顕著な増幅が見られる観測点ではS波低速度層の影響により意識という地震の地盤増幅特性として、①、特定の到来方向の地震はのみに丸に短周期の特定の周期体で堅調な増幅が見られます。
0:03:21	このような敷地固有の地盤増幅特性は閉鎖低速度層の影響を受ける特定の地域が到来方向に震源が位置するか否かによって、地震動の顕著な増幅分がポツとなります。
0:03:33	この特性というのは、内陸地殻内地震プレート間地震以下予定ない地震といった地震タイプにアズ共通でありますけども、各検討地震における敷地における地震動は増幅方向に短周期の地震動に支配的な振動正規圧ピークの小断層が
0:03:52	いつする割合の影響を受けて、その割合が大きいほど敷地に到来する地震はお腹で人が低速度層伝播し意見ちゅうのは増幅をする地震動の自費支援班の割合が大きくなることにより、短周期の地震動レベルが大きくなります。
0:04:09	これが敷地における地震動の増幅特性です。
0:04:13	話が変わりますしてその下にへ地震動評価手法の特徴を示します。
0:04:18	OWTFペットに基づく手法というのは基本的には地震規模等を震源距離といった巨視的なパラメータにより、震源断層全体に目を敷地の地震動評価する方法です。
0:04:30	一方、断層モデルを用いた手法というのは、震源断層復水の小断層に分割し、小断層ごとに震源特性伝播経路特性で地盤増幅特性を考慮して当該敷地に到来する地震は、薬品関数を算定し、
0:04:46	その地震は敷地への到来時刻を考慮して足し合わせることにより、震源断層全体による敷地による敷地の地震動評価する手法です。
0:04:57	これら二つのことを踏まえて、地震動の顕著な増幅を地震動評価ガイドに反映するのか、この方針を下の箱書きに示しております。
0:05:06	断層モデルを用いた手法というのは、①地震動の顕著な増幅が見られる日が到来方向に切る強震動生成かスペースの小断層から敷地に到来する地震はのみにマルにいた収益の特定の周期体で顕著な増幅を考慮することができますので、
0:05:23	これを踏まえて、増幅方向にすると強震動生成域アスペリティの小断層から、
0:05:29	到達する地震はの案周期の特定の周期体に検知の増幅を考慮することで、敷地固有の地盤増幅特性を詳細に考慮した断層モデルを用いた手法による地震動評価を実施します。
0:05:43	一方、応答スペクトルに基づく地震動評価は、これを敷地固有の地盤増幅特性を詳細に考慮するため、検討地震ごとに断層モデルを用いた手法による地

	震動評価結果から、敷地固有の地盤増幅特性が震源断層全体の地震動も応答スペクトルに与える影響を言い換えますと、
0:06:02	頻度の検査の増幅を考慮する地震動評価結果とフォローしない地震動評価結果の比を求めて、
0:06:09	いろいろとスペックに基づく地震動評価に営業反映することにより実施することとします。
0:06:16	これが追加した時増幅の頻度評価の方針です。
0:06:23	12 ページには、断層モデルを用いた手法による地震動評価の説明を示しております。
0:06:30	こちら前回は示しておりますけれども、このPについては 11 ページの説明を反映しております。
0:06:37	また下の図については左に示す小断層が強震動生成域アスペリティの小断層であることを明示してグリーン関数における震源特性、スモールSF電発特定スモールPFで地盤増幅特性スモールDFと、
0:06:54	それを足し合わせた剛性ははっきりにおける震源特性エラーDSF伝播電波特性エラーDPF地盤増幅特性、ラージCFOを書き分けて規定化を行っております。
0:07:10	13 ページは、断層モデル法でグリーン関数に乗じる増幅係数の資料です。
0:07:17	これまではただ増幅係数と対応しておりましたが、グリーン関数に乗じる増幅係数というよりも。
0:07:26	14 ページの図につきましても 12 ページ 13 ページの修正を反映しております。
0:07:34	15 ページは 11 ページの応答増幅方向に位置する強震動生成域アスペリティの割合等を地震のレベルの関係をわかりやすく解説した資料を新たに追加しています。
0:07:48	表現が正規アスペリティの小断層から敷地に到来する地震は、2 へ考慮する地盤増幅特定スモールDFとを増幅係数と共通として表の 2 行目に示すように、地震動の検討のソフトが見られる市が到来方向に
0:08:06	泡周期の地震動に支配的な強震動生成域ピークの小断層が位置する割合が異なるケースABCを考えています。
0:08:16	F-7 ケースをケースの各小断層から地震は下表の 3 行目で、
0:08:22	黒のはっきりが増幅なしなんてなかなか映画は増幅ありの発揮を示しております。
0:08:28	この大地震派の方地盤増幅特性のうちF騰本増幅係数は共通ですが、ケースごとに地震動の顕著な増幅を考慮する余震の正規圧ピークの小断層の数が異なることにより、これらを出し合っ作成される表の一番下に示す剛性 8 系

0:08:47	つまり敷地における地震動の振動レベルというのは、結果的に異なります。
0:08:53	これは合成発見を地震動レベルが炉心ではっきり薬品の正規アスペリティの小断層が増幅方向日中割合が技術による異なることによって、合成発見における地盤増幅特性エラーCDFが異なることにします。
0:09:12	16 ページは応答スペクトルに基づく地震動評価の説明です。
0:09:17	箱書き一つ目の丸は、11 ページのプレ繰り返しで断層モデル法の結果から、敷地固有の地盤増幅特性が震源断層全体の地震動に与える影響も含めて反映することで、応答スペクトルに基づく地震動評価の実施する分に対応しています。
0:09:34	雲を具体的な放送が二つ目の丸です。
0:09:39	基本的に変わっておりませんが、具体的にはということで検討地震の震源モデルごとに蒸気の影響を求めるため、地震動の顕著な増幅応答する場合と考慮しない場合について、断層モデルを用いた手法による地震動評価を行い、
0:09:54	これらの結果による増幅係数、応答スペクトル比、これは頻度の研修の同行する場合の日平均応答スペクトルの各破壊開始点の平均とフォローしない場合の平均応答スペクトルの破壊開始点の破壊開始点の平均の比ですが、
0:10:10	これを水平度、鉛直動をそれぞれ算出して地震動の顕著な増幅を延長の増幅を考慮しない応答スペクトルに基づく地震動評価に常時上昇します。
0:10:24	ここでここまでは、これまではここで乗じることとしていたものと平均応答スペクトル比と言っておりましたが、今回増幅係数括弧応答スペクトル比に当たったら改めております。
0:10:38	断層モデル法でグリーン関数に乗じる増幅係数とするために増幅係数の後に発行応答スペクトルヒートつけております。
0:10:47	この修正につきましては他のページほかの資料についても反映をしております。
0:10:52	そして前回のコメントで水平度の増幅係数について、NS、EW方向の確認がありましたので、破壊開始点の平均をとることとあわせて提示の下に個目で説明を追記しております。
0:11:07	読み上げますがけれども、応答スペクトルに基づく手法は、基本的には地震規模や震源距離といった巨視的なパラメータにより、
0:11:16	品現断層全体による敷地の平均的な地震動評価する手法であることから増幅係数音スペクトル比の算出には、断層モデルを用いた手法による破壊して相手の地震動評価結果の平均を用いた 1 用いると。
0:11:31	また水平度は、NS成分をEW成分の平均です。
0:11:37	反映方法に関する修正は以上になります。

0:11:42	続いてページ飛びまして 65 ページをお願いいたします。
0:11:59	こちらは内陸地殻内地震の御前崎海脚整備の断層帯による地震のほう、断層傾斜角の不確かさを考慮した震源モデルについてアスペリティ面積 22%、平均応力降下の 3.1MPa で設定した震源モデルとの比較を行っているところです。
0:12:17	弁閉は応答スペクトルの比較のみ示しております。示しておりましたが、コメントありましたので、時刻歴は系の比較を追加しております。
0:12:30	66 ページでは箱書きで用紙の地震動レベルが同程度だと同程度であることを説明しておりますが、
0:12:38	こちらコメントありましたので火報をピンクで採用している震源モデルと地震動の顕著速報考慮の代表性を確認した後、結論を追記しております。
0:12:51	この結論の区域につきましては 37 ページの表震源モデルのアスペリティ深さの検討についても同様に対応しています。
0:13:01	続いてまたページ飛びまして 98 ページをお願いいたします。
0:13:19	こちらはオフィス管理指針の強震動生成域の位置の不確かさを考慮した震源モデルについて、パラタケース、これは増幅なしの強震動生成域の不確かさをこうした震源モデルの直下ケースの一部に同行したケースですが、
0:13:35	それとの比較を行って代表性を確認しているところです。
0:13:40	地震動の顕著な増幅が見られる周期体以外の扱いについて確認がありましたので、ピンクの結論のところを追記しており、おります。
0:13:49	一つ目の大丸代表性を確認した旨の記載は変わらず、二つ目の丸を追記しています。
0:13:57	なお、地震動の顕著な増幅が見られる周期会え以外は比較対象としていないが、パラスタケースは頻度の件数の増厚を考慮しない地震動評価における振動生成杭の不確かさをこうした震源モデルの直下ケース②であり、
0:14:13	現実の通り、地震動の顕著な増幅を考慮する領域、5 号炉周辺においても考慮することとしていると。
0:14:20	※を追記しております。
0:14:24	続いて 124 ページをお願いいたします。
0:14:36	こちらですが、プレート間地震の地震規模の差を広報のページになりまして、こちら前回提出した資料で抜けておりましたので追記をしております内容については増幅なし。そうあと補足説明資料の①に記載しているものと同じです。
0:14:55	本資料の説明は以上になります。
0:15:01	続いて補足説明資料もある位置の修正箇所について説明をしていきます。クリップでとめた含めて送付しました差し替え箇所のみ資料をご覧ください。

0:15:18	12 ページ辺りからですが、
0:15:22	こちらは先ほども登場しました儘田海脚整備の断ポーターによる地震の断層傾斜角の不確かさ走行した震源モデルの正規面積 22%、営業力から 3.1MPa で設定した震源モデルの比較を行っている箇所です。
0:15:39	13 ページにこの震源モデルの震源断層パラメータを表で示しておりますが、
0:15:46	パラメーターのうち短周期レベルの差は指定し、については、他のパラメータ表で示す地震モーメントから算出式等濃くなっておりまして、右下にアスペリティ面積比及び平均応力降下量を固定しているため、
0:16:02	江田ほか 2001 による関係式の理論式により、アスペリティ面積比及びアスペリティ応力降下量から 3 と説明を追記しております。
0:16:15	14 ページは下から二つ目、他周期レベルの確認のところの式にまた 13 ページの下合うように修正をしております。こちら書き方への出席になります。
0:16:31	ページ飛びまして 17 ページをお願いします。
0:16:41	こちら採用しているモデルとアスペリティ面積 22% で設定した震源モデルのパラメーターの比較をしているところです。
0:16:49	弁閉は採用している震源モデルの短周期レベルにつきましても、小田ほかの理論式で算出した跡地対応しておりましたが、
0:16:58	ほかのページに掲載しておりますパラメータ表では地震モーメントから求める経験式が書かれて整合していないよろしかったので。
0:17:06	採用している震源モデルの短周期レベルは欠品式から求めているとの記載に修正をしました。
0:17:13	※1 にした表の下にある※1 の部分は該当箇所ですが、檀ほか 2001 による関係式日モーメントから求めるも経験式に基づき設定しています。
0:17:25	なお、この短周期レベルの値はアスペリティ面積及びアスペリティの応力降下量から理論式により算出した値と同じであると。
0:17:34	目を追記しております。
0:17:40	期目的に 12% で設定した方につきましては※2 ですが、これは前回から変わらず理論式で算出した旨の記載をしております。
0:17:51	18 ページは応答スペクトルの比較で本資料と同様にピンクで結論をしております。
0:18:00	ここで先ほどあの方資料で説明した時顧客への追加についてなんですけども、すいません、本資料に反映した部分の補足説明資料①のほうに反映をしておりますので、審査会合の資料、審査会合の資料の提出に低下させていただきます。
0:18:20	それ以外の軽微なシステムについては、修正箇所一覧のほうをご覧ください。ケツ名は以上になります。

0:18:30	はい。
0:18:32	規制庁のスガヤで
0:18:34	御説明ありがとうございました。
0:18:49	はい。
0:18:57	規制庁の 30 です。おはようございます。
0:19:02	私から幾つか確認、確認というかコメントがあるかもしれないんですけど。
0:19:07	まず 10 本資料の 11 ページとか、
0:19:13	それから、
0:19:15	はい。
0:19:19	5 ページとか、これ、
0:19:22	説明の、まず資料つけていただいてありがとうございました。これ非常によく私はわかって説明性が上がった。
0:19:33	かなということはちょっと思います。それで、
0:19:38	1 点ちょっと確認をさしていただきたいんですけど。
0:19:42	12 ページ目。
0:19:46	ページかな。
0:19:48	14 ページでいいんですけど。
0:19:52	これ、最終的に構成する機器で解放基盤面で構成されているという理解でよろしいでしょうか。
0:20:06	電力のイシカワです。その通りです。
0:20:14	すみません、解放基盤表面で互選しております。
0:20:18	はい、ありがとうございます。わかりました。それはこの堅調な増幅を考慮しない場合でも同じということによろしいですね。
0:20:28	中部電力の石川です。はい、同じでございます。
0:20:32	はい、ありがとうございます。アマノというものは何かなんていうんですね。
0:20:36	簡易的ってわけじゃないんですけど、ちょっと作業省くために、実際には統計的グリーン関数って、と地震基盤での地震を求めるものであって、なので、地震基盤で求めた上で、
0:20:51	それぞ地震基盤で構成したものに、単純に等値の増計装かけてるっていうわけじゃなくて全部にその増幅係数を求めてかけた上で解放基盤で構成されていると、そういう手法をとられてるってことで、
0:21:06	そうですね。はい、ありがとうございます。
0:21:12	あっ、すみませんあともう 1 点なんですけど、PAR等
0:21:18	御前崎海脚の

0:21:21	実施自身の派遣の訓練ですよ、65 ページです。これも追加していったらばITありがとうございますで別途 66 ページで一応代表性を確認したと書かれているんですけど、上の箱書きっていうのは、
0:21:37	これはもう以前から同じように、
0:21:40	この地震のレベルだと思ってどうなっていることを確認した。
0:21:44	それで、
0:21:47	98 ページで、これ以前から出されてるんですけど。
0:21:52	こちらのプレート間地震のところでは、
0:21:55	このパラスタースと比較して地震動レベルと同程度かそれ以上のこと。
0:22:02	書かれているんですよ。ちょっと微妙に
0:22:06	表現が違うって言って、
0:22:08	66 ページっていうのはそれ以上になっている。
0:22:12	ここまではこれ言えないっていうことなんでしょうか。
0:22:33	中部電力の成田でございます。ですね。
0:22:37	50 から 98 ページ目の前の 97 ページ目をちょっと見ていただくと。
0:22:46	発見の最大値がですね、やはり今のモデルのほうがパラスタよりこちらの加速度値を見れば大きいので、同程度もしくは大きいという表現ができたという我々の判断でございます。具体的に言うところの方だと。
0:23:00	1966Galっていうのがおそらく一番大きなラップアップさの入れる方向ですねこちらが大きくて、赤だとですね、1900Gal代までの発見はないので、やはり最大加速度という観点で明確にいえるかなと思っております。
0:23:16	今戻っていただいて、6665 のほうですね、そちらをちょっと見ていただくとですね、例えばマクロの発表を見ていただくと、一番大きな最大加速度がラップ 4 のラベルでいちいち 56 という数字一方も赤についてはラップ 2 のほうで 1132 という数字がございまして、
0:23:35	これをもってですね大きいと言えないことはないんですけど、先ほどに比べるとほぼ塗布程度とも見れるので、今は同程度で表現をさせてもらっているとただ結局その手法としてやはり二つあって、別にどちらでやってもいいということが最終的な結論かなと我々思っているんで、
0:23:54	こちらについては現行のモデルでやってもまあいい対応できるよねってことで、同程度という表現でも支障はないかなというふうに思っております。
0:24:06	はい。
0:24:07	はい、サグチです。アメリカとございました。
0:24:12	確かにそうかなと。うん。

0:24:15	その 65 ページの加速度はけ見ると、若干確かに大きいことが起きんですよ。だけど、まあそんなに明らかで起きてもいい切れないんで、今は同程度ぐらいですよという表現でされているんですよ。
0:24:30	はい、ありがとうございます。とりあえず、私は以上です。
0:24:42	規制庁のスガヤです。私の方からすみません、ちょっと整理いただきたいとか確認させていただきたい点と見ておられるんですけども、
0:24:50	本体資料の 9 ページ。
0:24:54	なんですけれども、
0:25:02	各地震の到来方向別で右側のほうにどのくらい増幅されたかって言う
0:25:11	示してあるんですけども、ここでプロットされているこの参画のプロットに対応する地震の
0:25:19	信用分布っていうのはどっか、今回の資料の中にあるんですよ。補足資料とか、
0:25:26	それがちょっと
0:25:27	点目確認なんですけども。
0:25:34	中部電力ナリタでございます新の分布図はですねちょっとこの資料上は概要ということで、割愛させていただいておりますが、第 532 回の資料を見ただけならばと思っておりますので、そちらを見ていただければなと思います。
0:25:50	規制庁のスガヤです。はい、ありがとうございます。
0:25:54	あともう 1 点ですね、12 ページのところ、
0:26:02	上の箱書きのところ、丸が三つあってですね、三つ目の丸のところ、グリーン関数議場つる増幅係数については増幅の程度が最も大きい 2009 年の駿河湾地震本震を参考に
0:26:18	変更するということだったんですけども、
0:26:26	増幅率が大きいということで長谷川の進行お手本に参考にして思うんですけども、一方で増幅が見られる地震が到来方向っていうのは駿河湾の地震だけじゃなくて神奈川県政府とか、あと伊豆半島の
0:26:43	地震とかが
0:26:47	含まれてると思うんですけど、9 ページの
0:26:49	そこは、
0:26:51	図を見るとですね。
0:26:52	そういった駿河湾以外の地震でも、この駿河湾の
0:27:00	地震の
0:27:04	増幅の程度が大きいものを立て込んで参考にしてやれば、それ以外の地震に関しても、

0:27:12	矛盾なく説明できるっていうそういう理解でよろしいですよ。
0:27:18	中部電力の成田でございます。その辺の層理をすべて地下構造の審査の中ではつめそこご説明させていただいておりますが駿河湾の本震で代表できるという結論でございます。基本的に先ほどの稠密地震観測の9ページ目をちょっと見ていただきますと、
0:27:38	こちらは地震計としては速度計というものをちょっと使っております非常に感度が高い地震計になっております。その理由はですね微小地震のとらえたいということで地震観測しておりますので、こちらについては大きな地震は基本的にはとれてないんですね、むしろ大きな地震を犠牲にして小さな地震を通ると。
0:27:56	ということでこのような観測を維持できているとこの中で見ていただくとですね、N60Eという方向が最もは振幅比としては大きい方向になっております。この駿河湾の方向30°から70°で増幅してるんですけども。
0:28:12	その中でもトレンドとしては60°の方向が一番大きいと。
0:28:16	先ほどの12ページ目の三つ目の丸の波高戻っていただいて駿河湾の本震というのもですね実はその方向に位置しております、この駿河湾の本震と言っているものは、先ほどの小さな地震ではなくてですね、しっかりその敷地の時地中観測点。
0:28:33	いわゆる地中観測点ということで加速度計で大規6まで取れる地震計を配置しております、その記録の中で最も大きいものが駿河湾の本震だったということで、本震をベースに歩道ケースの検討しているということでございます。
0:28:49	この辺りも過去の資料を見ていただければ持っておりますので、必要に応じて参照いただければと思います。
0:28:57	はい、規制庁の酒井です。
0:28:59	説明が入って、ありがとうございました。
0:29:26	あと、
0:29:27	それから、
0:29:30	何か前
0:29:33	いや、
0:29:35	なお、
0:29:36	計画で、
0:29:40	川観測されてない。
0:29:42	はい。
0:29:46	だったら、海洋プレート内
0:29:49	はい。

0:29:51	どうぞ。
0:29:52	それから、断層モデルと比較して復旧する。
0:30:00	観測がないんで。
0:30:01	彼らが説明しております。
0:30:07	説明
0:30:13	それは海洋プレート内地震で得られた。
0:30:17	しかない。
0:30:25	そうですか。
0:30:32	そういうことを述べさせていただいているところです。
0:30:37	はい。
0:31:38	すいません規制庁ナイトウですけども、1回説明を受けているかと思うんだけど、じゅ
0:31:44	16ページのほうがわかりやすい。
0:31:47	応答スペクトル法に基づく
0:31:51	する等の増幅応答
0:31:54	増幅係数をどう出すかというやつについて、
0:31:59	これって、
0:32:02	何でこういうやり方やっ
0:32:05	御とることにしたんでしたっけ、あの上の四角のところ何も書いてないんだけど。
0:32:12	なんで、この事故の方法で増幅率を求めることにしたところをちょっと説明いただけませんか。
0:32:24	はい。
0:32:29	電力のイシカワです。
0:32:31	本資料の11ページのほうをよろしくお願いいたします。
0:32:41	一番上の箱書きの二つ目ノーマルですけども。
0:32:47	基本的に方法敷地固有の地盤増幅特性が地震タイプによらず共通です。
0:32:53	ただその増幅方向にある周期の地震動に支配的な強震動生成域の割合によってその増幅の程度というのが、
0:33:05	変わってきますねその終わってでは変わってくるよという説明が15ページになります。
0:33:13	補足しているものになります。全く増幅しないものに対して、15ページの模型須江に対して半分は増幅すれば、ケースBのほうに少し大きくなって全部増幅すれば計測資料にまた地震で大きくなると。

0:33:28	ということでの増幅方向にあるメッシュ赤になるか全部赤になるかは半分がやっぱりエーツ廃炉になるかということで、都道府県映像の軽度は変わってくるということになります。
0:33:43	それも担保を地震動評価は評価できるものがまず断層モデル法だというふうに考えております。それはなぜかという、断層モデル法というのは、震源断層細かく
0:33:58	小断層に分割して、そのメッシュごとに小断層ごとに特性を反映できるからということで、その到来方向にあるか否かということにきちんと対応できるのが断層モデル法の結果で、
0:34:13	評価結果というのは敷地における地盤増幅特性を詳細に反映できている結果ということになりますねと日断層モデルの費用を求めることで、エース敷地固有の地盤増幅特性の音スペクトルの増幅率どれぐらいの音スペクトルが大きくなるかと。
0:34:31	ということがきちんと評価できるというふうに考えておりますので、総務費を使って、応答スペクトルφすることで音スペクトルでもちゃんとした後、増幅の評価を行うという方針でございます。
0:34:48	はい。
0:34:48	規制庁の伊藤です。その部分ではなくてその前段のところなんや本来であればね、もとスペクトル法定そうそうない立場観測記録に対して経験的に届くぐらいの値。
0:35:04	加速度がどの周期たいと思いますが出るのかっていうのを、経験的に出して話であって、それ以上を中経験的実測として6分でどのぐらいどうぞおかけとかっていう話がこれまでされているし、
0:35:21	オートスペクトル、この基本的な考え方ではずだったけれども、相当その手法とらないって、すべての震源っていうかな、内陸地殻内とか、それも含めてすべてのやつについて、
0:35:40	断層モデルで計算した結果を増幅割合を持ってくるという形の手法をとろうとしたのか、その部分なんです。
0:35:53	はい、中部電力をナリタでございます。
0:35:56	ですね、一番大きな特徴としては11ページ目の一番最初の丸に書いてあるように、浜岡の特徴がですね、まず特定の到来方向30°から70°の地震がどう見に増幅するということと、
0:36:13	あとは非常に狭い帯域0.2から0.5棟のみに増幅が見られるという非常にレアな増幅特性をしております。一方この特性に対して、実際じゃあ我々の検討地震でどうなってるかっていうと、当然プレート間地震とかですね。

0:36:32	いろんなどころにアスペリティがちりばめて置かれているということで、この特性を＝反映できる観測記録というものがまず取れてないんですね、要するに北東方向淘汰と西側と北側で例えば滑りっていう配置されていて、
0:36:48	そういった地震がもし観測記録として起こっ定義でばその観測記録を用いてという発想になるかもしれませんが、当然我々そういった検討地震に上げているの地震の観測記録とれておりませんので、そういったものを反映する観測記録はないと。
0:37:05	ということでございます。先行サイトをだからおそらく柏崎だと思いますけれども、柏崎はFのなんていうのは10何ぼ断層は、基本的には＝検討地震になっておりましてその観測記録を補正することで当然増幅特性反映できるんですけど。
0:37:22	それはおそらく我々と違ってですねわかりやすい増幅特性海側増幅しますよって話と、まず検討地震もイコールであるっていうことをそれによって観測記録の補正で反映できたというものなんですけど、あそこが大きく一番浜岡のJAとは違うのかなと思っております。
0:37:45	規制庁ナイトウですけども、それがどこにも書いてないんですよ。
0:37:50	なぜこの手法をとろうとしたのか。
0:37:54	志免町。
0:37:56	そこって書けませんか。そうしないと何でこの手法とらざるを得なかったっていう皆さんが考えてるのか説明がちょっと抜けちゃってるんだけど。
0:38:09	動かしました。ちょっと十分よくなれてございます。すいません。抜かしました
0:38:16	多分少し補足的に書かせていただければ足りると思いますので、少しそれはこの方針のところかどこかに少し
0:38:26	記載を充実させていただければなと思います趣旨は理解しましたので欠けると思いますので、記載させていただきたいと思います。
0:38:37	はい、規制庁の伊藤です。
0:38:40	中部電力さんが平均なんでこういうふうに
0:38:44	計算による方法をとろうとするのかっていう論理構成というのところと思うんでそこしっかり書かれていると。
0:38:53	大丈夫な図了解しました。
0:39:16	根本的な
0:39:19	ですから、
0:39:22	はい。
0:39:23	はい。
0:39:24	はい。

0:39:29	平均応答スペクトル、
0:39:34	そうします。
0:39:36	うん。
0:39:38	はい。
0:39:39	了解。
0:39:43	その計算
0:39:47	はい。
0:39:49	ですね。
0:39:52	そう。
0:39:56	あと、
0:39:59	規制庁のサグチです。
0:40:02	ちょっと一行、
0:40:05	確認というかお願いがあるとかあるんですけど、補足資料、
0:40:09	の①で、
0:40:11	どれでもいいですか。
0:40:16	各地震の
0:40:18	偏重な増幅ありとなしの応答スペクトル平均をとって欲しいということですが
	ど。
0:40:27	例えばこれを冒頭STEPと。
0:40:30	費はこれでいいんですけど、プラスフーリエスペクトル比というのを、例えば示
	していたかというところで結構時間かかります。
0:40:52	中部電力ナリタでございます。時間はかからないと思います。
0:40:59	ただ、それをもってどういうメッセージを送って、
0:41:03	起こると。
0:41:04	っていうのが少しまだ織り込んでいて、
0:41:09	本当に短くないですか。
0:41:12	ただ、連立はいないんですが、これはLipinski員ですか、
0:41:17	。
0:41:25	なければ、
0:41:26	で、
0:41:28	高校チーム。
0:41:31	規制庁のスガヤです。
0:41:33	だから、
0:41:36	こちらの音声活動続けますか。
0:41:41	含まれて、

0:41:43	規制庁のスガヤです。
0:41:45	幻想がちょっと乱れているようなんですけれども、映像と音声、
0:41:52	そういう戦略3の音声をいただきたいんです。
0:42:05	というような話で、中部電力ナリタでございます。今これまずでしょうか。
0:42:10	そう。
0:42:12	規制庁のスガヤで飛び
0:42:14	例えば途切れ途切れ
0:42:16	音声が流れてますよ。
0:42:19	それで、
0:42:21	ちょっと、
0:42:24	こっちこっちの今ちょっと欄を設けず、
0:42:33	オペフロとして今ことも改善しております。
0:42:37	ちょっと心配で少々お待ちくださいすいません。
0:42:43	規制庁のスガヤです。承知しました。
0:43:11	規制庁のスガヤをベースにOKズラーツ音声届いてないようになってちょっと一旦試す出口ことがあるんですけれども、そちらの映像の方をちょっと切っただいて、音声だけにしていただいて、
0:43:28	よくなるか1回試していただけますか。
0:43:40	はい、了解しまして、少しお待ちください。
0:43:43	はい、規制庁世界ですお願いします。
0:43:47	中部電力ナリタずにビデオ停止しました音声のみの状況になっております。拳式消火インパクト
0:43:54	ほか、
0:43:58	町のスガヤです。
0:44:00	またぶちぶちちょっとですね、先ほどよりはいいんですけどまだ音声がぶちぶちちょっと
0:44:06	特にてしまいますね。
0:44:07	うん。
0:44:24	以上です。規制庁スガヤです。
0:44:30	すみませんけれども、ちょっとこれで
0:44:33	一旦やってみましょう。
0:44:39	規制庁スガヤです。聞こえてますか。
0:44:43	中部電力ナリタですし、
0:44:47	千船なくなるという聞こえてはおりますがちょっとまだ接続状況がよくないので、

0:44:56	こちらの取り入れてみると、こちらの両方を早くすいません中部電力ナリタで今は聞こえてますでしょうか。
0:45:08	入ってもスガヤです。今の普通に聞こえてます。
0:45:12	こちらの声も聞こえてます。
0:45:22	中部電力ナリタ聞こえております。
0:45:28	規制庁世界ですがこの状態で続けましょう。
0:45:36	それで、サグチサグチの方から質問を埋めるナリタ了解しました。先ほどもちょっと
0:45:45	はい。
0:45:50	すみません、プール液位の件は算出することは可能ですので、対応させてもらいたいと思います。どれか一つ二つの事例という形でよろしいでしょうか。
0:46:06	サグチですけれども、
0:46:08	これはあくまでも最終的な確認というのかなってんすかね計算結果の妥当性っていうところで、ちょっと私は考えと思っているので、代表というふうによる時間かからないんだったら、
0:46:23	今のその 100
0:46:26	補足の 100
0:46:29	17とか18とか、もっと後ろにあるんですけどというところに何かこう、
0:46:37	重ね描いていただけるとありがたいんですけど、時間がかかるようだったらちょっと代表的なものが出るんですけど、ちょっとそこは、
0:46:47	ご検討ください。
0:46:54	はい。
0:46:57	覚えてないと。
0:46:58	だから、
0:47:06	。
0:47:10	中部電力ナリタでございます。ちょっと全数となるとですねそう拘束時間もかかるんですが、
0:47:19	どれぐらいの線まで時間軸でちょっとお話しされているか、例えば1週間程度というイメージなのか、ちょっとその辺をお聞きいただけると助かります。
0:47:31	はい、サグチです。
0:47:33	じゃあもうちょっとスケジュール感だけ申し上げますと、おそらく7月末
0:47:44	その週の頭ぐらいですよ。
0:47:53	ぐらいまでにできるかどうかって言うのちょっと教えていただければと思うんですけど。

0:48:06	中部電力ナリタでございます申し訳ありませんが一番大事なところだったんですけど、音声が悪くてちょっと我々聞き取れなかったのもう一度お願いできますでしょうか。
0:48:18	はい、規制庁のサグチすみません。一応
0:48:23	はい、7月の末
0:48:31	ぐらいを目指すとして、
0:48:34	そうすると、その中の頭ぐらいに資料提出になると思うんですけど。
0:48:42	そこぐらいの
0:48:44	間で可能かどうかというところなんですけど。
0:48:54	中部電力ナリタでございます申し訳ありません、ちょっとこちらもやはり改善状況改善できていないので一度ちょっとも再接続させて改善できるかちょっとためさせていただきますと思います。すみません。よろしくお願いします。
0:49:09	規制庁の長谷川です。了解しました。すみません、お願いします。
0:54:05	すみません中部電力とおっしゃった通りですが、規制庁さん、よろしいでしょうか。
0:54:11	はい。ですが、これです。
0:54:14	今直交恐慌音声クリアなんですけど、一旦本店さんの状況、
0:54:24	はるかに
0:54:26	自分のナリタですけども、今本店側でもクリアに超えております。
0:54:34	はい、規制庁世界で規制庁側も聞こえております。
0:54:39	それから、
0:54:41	自分のナリタすみません大変お手間おかけしましたやつ引き続き進めさせていただきますければと思いますよろしくお願いします。お願いします。
0:54:49	すみません。サグチさんの御発言をすみません繰り返しになって、3回目よろしくお願いします。はい。
0:54:58	とスパンっていうが甘いしき週間ぐらいですね。
0:55:03	というのはさ、最速で7月末になるので、
0:55:12	収納固まり下部資料を入れていただくとしますので、
0:55:18	1週間ぐらいかなというところなんですけど、過疎27日ぐらいまでに間に合うかどうかしているところなんですけど、どうでしょうか。
0:55:33	4年6ナリタでございます。頑張らせていただきます。
0:55:41	はい規制庁サービスでそこはよろしくお願いします。
0:55:45	私は以上です。
0:55:52	はい。
0:55:53	中部電力のイシカワですけれども、よろしいでしょうか。

0:55:58	はい。どうぞ。
0:56:01	今のフーリエスペクトルの比というのを、
0:56:06	例えば、補足説明資料丸いC-43 ページが内陸地殻内地震の応答スペクトルのほうですけれども、その後ろに同じようにつけるというのをイメージでよろしいでしょうか。
0:56:27	& サグチです。うまくそれでいいと思いますので、全部並べてやると大変だったらこんな形でなんか、
0:56:40	ちょっと平均的なものなのか分けてっていうのも結構です。とりあえずよろしくお願いします。
0:56:48	中部電力の石川です。承知いたしました。
0:57:03	スガヤですでは特にないようであればですね、これでヒアリングのほうを終わりたいと思いますが、よろしいですか。
0:57:15	例えば電力アマンですありがとうございました。では、
0:57:20	ヒアリング図書これで終わりということで、今日の
0:57:25	いただいたお言葉を見合わせている資料のほうに一部修正しながら、審査会合日程をお待ちしつつ、
0:57:33	変更点の資料提出の際に改めて御説明させていただくという形で進めさせていただければリレー室か。
0:57:52	はい、規制庁の菅井です。
0:57:54	そしてはですね一応7月の技術りまでにですね、できそうかどうかという見通しをですね、整定いただきたいと思いますので、
0:58:10	中部電力アマンです。と当社としてはやります。頑張ってくださいと言ったんで、
0:58:24	修正したところをお送りしていけどご覧いただいてからのほうがよろしいのか、それとも、審査の日程を待って。
0:58:34	そのて詳細に御説明すればいいのかって、どちらで進めさせていただいたほうがよろしいでしょうか。
0:58:43	ヒアリングで計上するぐらいです。ヒアリングなどで別的な話もあったの追って調整させていただければと思いますので、よろしくお願いします。
0:58:56	せめてアマン承知いたしました。
0:59:00	はい、ではこれで終了します。
0:59:03	ありがとうございました。